

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 9 月 10 日

【評価実施概要】

事業所番号	2171200385		
法人名	株式会社グランファリスナー		
事業所名	グループホーム ひだまりの丘		
所在地	〒505-0046 岐阜県美濃加茂市西町7丁目101番地2 (電話) 0574-28-5588		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル2階		
訪問調査日	平成19年8月29日	評価確定日	平成19年10月15日

【情報提供票より】 (平成 19 年 8 月 15 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 23 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 7 人, 非常勤 9 人, 常勤換算	14.7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	平屋 建て

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	15,000~ 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 実費 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成 19 年 8 月 15 日 現在)

利用者人数	17 名	男性 2 名	女性 15 名
要介護 1	5 名	要介護 2	5 名
要介護 3	3 名	要介護 4	3 名
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 86.7 歳	最低 78 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	西田医院、ワカムラ歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

大きく開いたサンデッキ越しに眼下には田や畑が広がり、遠くに山も望め、朝に夕に懐かしい風景を楽しむことが出来る。市郊外の田園地帯の一角・高台にある新築・木造・平屋の2ユニット18名のホームは快適である。フェンスにガードされた建物外周には芝生が植えられ、利用者はホーム内から自由に入出入りして散策を楽しみ、外気に触れる事ができる。開設3年間で通算115回を超える音楽療法は利用者に大好評であり、ボランティアもよく続けている。そして常勤職員の離職者はまだない。運営理念の一つである「自分らしさや生きがいを見つけ、それを大切にします」が実践され、利用者の穏やかな明るい笑顔となって現れている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善課題である、権利・義務の明示、運営理念の啓発、緊急時の手当、責任者の協働、入居者の状態に応じた職員の確保、相談・苦情への対応、入居者の金銭管理を始め、多くは改善済みである。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を日頃の行動のチェックポイントとして活用すべく、前向きな事柄として取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は昨年の秋に開催された後、中断している。家族・行政・民生委員・地主・近隣者等による委員を再編成して、早急に開催する予定である。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族とのコミュニケーションや交流を大切にする観点から、毎月の支払いは家族が直接ホームに来所して支払われている。その時に利用者の介護や医療上の報告や相談があり、介護計画の見直し等に活かしている。苦情箱、家族会、第三者苦情申出先ポスターの貼付と色々PRされているが、苦情の申し出はない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームは田畑と神社の林が隣接する郊外住宅地の一角にあり、散歩などで外出したときには地域の人達と挨拶を交わし、夏祭りを始めとする行事には近隣の方々を招待している。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしさを尊重」「真心サービス」「生きがい大切」「人権尊重」の4つの理念をたて、明るく元気な運営がなされている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの地域密着型サービスとしての経営理念は、経営者・管理者・職員・利用者がともに近隣居住者であり、普通のこととして地域との交流に取り組み、実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームは田畑と神社の林が隣接する郊外住宅地の一角にあり、散歩などで外出したときには地域の人達と挨拶を交わし、夏祭りを始めとする行事には近隣の方々を招待している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価の改善課題である、権利・義務の明示、運営理念の啓発、緊急時の手当、責任者の協働、入居者の状態に応じた職員の確保、相談・苦情への対応、入居者の金銭管理、を始め多くは改善済みである。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨秋開催されたままになっている運営推進会議を、早急に開催する予定である。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域のケア会議に出席したり、必要事項については電話での問合せや、直接出向いたりして、市の担当者とは交流の機会を多く得ている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族とのコミュニケーションや交流を大切に する観点から、毎月の支払いは家族が直接 ホームに来所して支払われている。その時に 利用者の介護や医療上の報告や相談があり、 介護計画の見直しに活かしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の意見・不満・苦情は、苦情箱・家族会・第三者苦情申出先ポスターの貼付と、意見を表す機会は設けられている。ほとんどの家族は支払いに毎月一度は来所しており、その折には職員と面談し、そこで得られた情報は運営に反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	経営者やその親族は地元の出身であり、職員は近隣居住者が採用され、利用者も地域の方である。開設3年間で今のところ職員の離職者はなく、母体法人経営の施設は他にないので、人事異動もない。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	子育てが一区切りついた主婦が今春介護福祉士の資格を取得したなど、自己啓発も盛んである。休憩は別室で取られている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケアネット会議に出席した時などに情報交換などの交流がなされている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	日頃から希望者の見学を受け入れたり、ホームの行事（夏祭り等）に招待したりして、馴染んでもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事やおやつの時などにはその人なりの過去の人生を話してもらったりして、共に学ぶ姿勢で接している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	季節ごとの衣類の入れ替え、室温調整、日頃の生活についてなど、利用者本人の気持ちや希望・要望の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	フェイスシート・介護記録の専用紙への切り替えをセンター方式活用の研修終了後に取り組み計画中であるが、介護計画の作成は家族とも話し合いが持たれて行われている。	○	本人・家族・職員等で話し合っ作られた介護計画書の新しい様式への取り組みに期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月家族とは面談し、介護計画の期間中であっても、また、1ヶ月の内でも随時状況の変化があれば見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	普通一般の介護支援のほかに、2名の看護師がいる。その特徴を活かし、看護や音楽療法など、更なる状態回復への積極的な努力をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	原則として、従来からのかかりつけ医にそのまま継続し、受診する方針である。協力医療機関との医療連携や、口腔ケア、服薬管理、トイレ・洗面所の手洗消毒薬設備、保健証等貴重書類の一括管理など、医療・衛生面の対応は充実している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	2名の看護師職員を中心に、直前までの介護・看護が行なわれており、その後は医師の判断により協力医療機関への入院に切り替えるとの方針が早くから確認・共有されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導や入浴支援など個人の尊厳を傷つけるようなことは無く、個人情報の保護管理にも注意を払うように話し合われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペース配分などは本人の希望を尊重し、ゲーム参加などでも無理強いしないよう穏やかに対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	元気で賑やかで楽しげな食事風景であった。刻み食・トロミ食にも対応している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月水金・火木土の2班に分け、週3回の入浴が行なわれているが、希望すればそれ以外の日も対応している。トイレ同様、フロ脱衣所も床暖房がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	通算115回を越えた音楽療法が行われている。訪問時に見学できたが、利用者は元気活発で、実演奏を楽しみにしている。貼り絵・アレンジフラワー等も行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望者は毎日の食材の買い出しに同行し、レジ支払いも支援している。田畑が広がり、そばにある村の神社も散歩コースになっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	安全の為玄関は施錠されているが、居間からはテラスデッキを経て建物外周に設けられた芝生に簡単に降りることが出来、よく利用されており、全体として開放感がある。玄関は、チャイムの活用を検討中である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	スプリンクラーの設備はないが、避難誘導用ロープや防災頭巾は常備されている。緊急体制表・連絡先一覧表は作成されて事務所所定箇所に貼付されており、利用者家族連絡先は別ファイルに整備され、医師や救急隊に対する1行コメントも付記されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立メニューは充実しており、水分補給も個人ごとに認識されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物中央の居間とそれに続くテラスデッキは広く開口し眺めもよい。テラスデッキで休んだり、そこから簡単に降りて建物外周に設けられた芝生に利用者単独で散歩するのによく利用されている。日除け用のよしずも効果的に使用されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	めいめい個性的な居室になっており、それぞれの支援がなされている。持ち込まれた仏壇に朝晩亡夫へのお仏供様(ご飯)をお供えしてから食卓に着く利用者もいる。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。